

平成26年度ノリ養殖概況

亀井良則*・古村振一*

養殖環境 平成26年10月から平成27年3月までのノリ養殖期間中の旬別平均気温の推移と、平成26年4月から平成27年3月までの降水量の推移を図1、2に示した。

岡山市における平均気温は、10月上旬から11月中旬まで概ね平年並みに推移した後、11月下旬から12月中旬にかけて平年から4℃前後上下動したが、その後は3月下旬まで概ね平年並みに推移した。降水量は、8月、10月から1月、3月は平年より多めで推移した。

瀬戸内市牛窓町の地先海面に設置した水温自動観測装置による、ノリ生産期間中の水深2m層における日平均水温の推移を図3に示した。10月上旬から11月中旬まで概ね平年並みで推移した後、11月下旬は高め、12月上旬から1月中旬まで低めで推移し、その後は平年並みであった。

溶存態無機窒素濃度は11月上旬には11.4μMまで増加したが、12月中旬には2.6μMまで減少した。その後、1月下旬には一時的に5.9μMまで回復したが、2月以降再び減少し、2μMを下回った。また、大型珪藻は*Coscinodiscus*属が9月下旬に、*Eucampia*属が1月中旬にそれぞれ増加したが、大量発生はみられなかった。

採苗及び育苗 県内での採苗は1漁協が実施しており、10月上旬から中旬にかけて採苗が行われた。

育苗開始は海水温24℃以下を目安とし、順調な水温低下により9月27日から開始された。漁場へのノリ網の張り込みは、早い地区では10月15日、その他の地域でも10月20日前後には開始された。

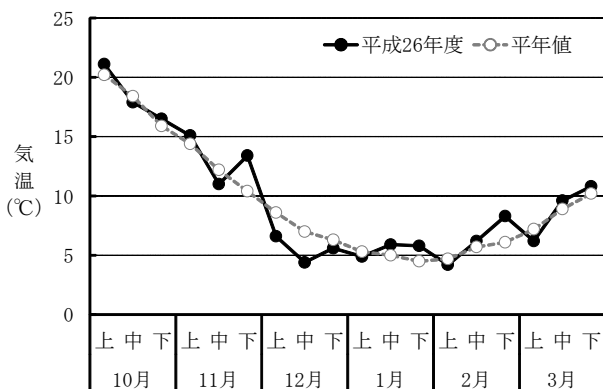


図1 平成26年度漁期の旬別平均気温の推移 (岡山地方気象台)

生産 例年、単張りは概ね水温19℃を目安に開始されるが、早い地区では11月1日から順次開始され、11月10日頃から本格化した。生産の開始は、早い地区で11月18日から、全県的には11月下旬頃からとなった。

鳥類や魚類の食害により、生産開始が予定より遅れる漁場もあったが、11月に栄養塩が多かったため、生産開始当初から色調がよく、艶のある乾海苔が各地で生産された。一方で、降雨による比重の低下や高水温により、児島湾周辺の漁場で赤ぐされ病が発生し、葉体の伸長不良もみられた。12月に入っても葉体の色調と乾海苔の品質は維持されたが、伸長不良、食害の影響で生産量が伸び悩んだ。1月に入り、日生地区では色調が低下したため生産を終了した。その他の地区では、葉体の色調は若干低下し、水温低下のため、伸長は更に悪くなったが、次第に食害は落ち着き、概ね良品の生産が続けられた。その後2月に入り県西部で、中旬頃にはほぼ県下全域で色調低下がみられたが、3月の定期的な降雨により色調の回復がみられ、県西部では3月上旬、その他の海域では概ね3月下旬まで生産が続いた。

生産結果 今年度の生産枚数は2.1億枚（前年度比133.9%）、生産金額が18.0億円（前年度比174.7%）となった。平均単価も8.52円（前年度差+1.99円）と高く、前年度を大きく上回った。

漁協別の養殖規模及び生産量は表1のとおりであった。

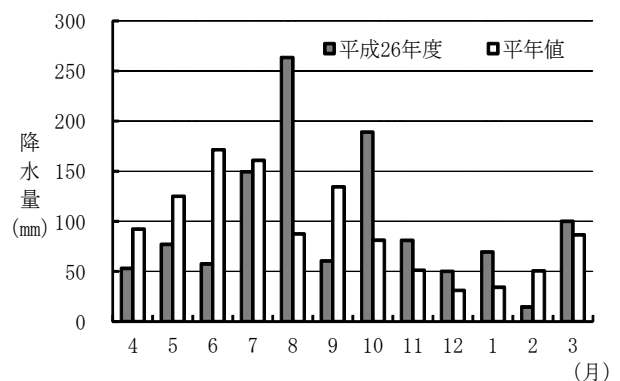


図2 平成26年度漁期降水量の推移 (岡山地方気象台)

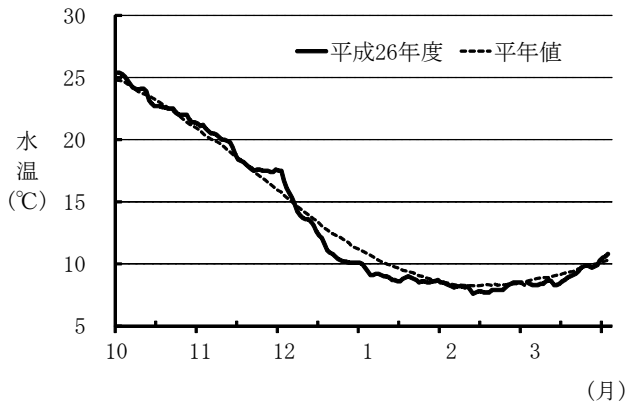


図3 平成26年度漁期の日平均水温の推移
(水深2m層)

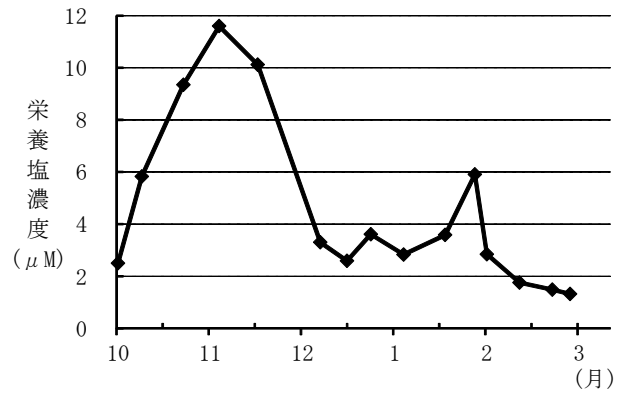


図4 平成26年度漁期の時期別溶存態無機窒素濃度の推移

表1 平成26年度漁協別ノリ養殖施設数及び生産量

漁業協同組合名	経営体数	着業世帯数	柵数 (柵)	採苗網枚数 (枚)	生産量 (千枚)
日生町	1	2	240	440	169
牛窓町	7	9	3,040	3,040	18,259
朝日	12	12	3,816	4,110	24,080
九幡	5	5	1,820	1,820	14,821
小串	11	11	3,120	3,340	23,834
たまの	2	2	496	500	4,018
胸上	21	25	5,320	6,010	57,316
第一田之浦吹上	1	1	240	240	907
第一下津井	2	4	760	760	2,341
下津井	5	9	2,220	2,220	13,237
下西	1	1	540	540	4,878
黒崎連島	5	9	3,510	3,510	32,703
笠岡市	3	7	3,645	3,645	15,058
計	76	97	28,767	30,175	211,620
前年対比 (%)	90.5	94.2	90.2	93.8	133.9